

はじめに

昨年は天皇の退位に伴う改元が行われ、平成の歴史に幕を閉じ、令和の新時代が始まりました。時代は変わりましたが、変わらないのが災害ではないでしょうか。

昔から「災害は忘れたころにやってくる」と申しますが、正にその通りであります。振り返りますと、関西地区に未曾有の被害をもたらした阪神淡路大震災から25年が経過し、津波の恐怖を植え付けられた東日本大震災から今年で9年が経とうとしています。近年では、南海トラフ巨大地震が30年以内に約80%の確立で発生すると言われていています。これらの大規模災害の教訓を風化させることなく後世に伝えると共に、今後発生するあらゆる災害に対して備え、市民の生命を守っていくことが我々の使命であると感じています。

昨年を顧みますと、自然災害では9月、10月の台風による記録的な豪雨の影響により、日本各地で河川の氾濫や土砂災害が発生し、甚大な被害をもたらしました。また、火災では、7月の京都アニメーションでのガソリンを使用した放火殺人事件では多くの尊い命が失われました。10月には世界遺産である首里城が火災により焼失し、歴史的に貴重な建物や収蔵物が失われました。このように、全国的には大規模な自然災害や社会的影響を与えるような火災が発生した一年でした。

一方、北消防署管内の状況は、救急出動件数は毎年のように増加傾向にあり、年間1万件を超えており、今後も高齢化の進展と言う社会的背景から、救急需要の増加が見込まれています。消防局では、増加し続ける救急需要に対応するため、高師浜出張所に救急隊1隊増隊、さらに、「まちかど救急ステーション事業」を展開するなど、救急体制の強化並びに救命率の向上を目指しております。

また、火災は減少傾向にありますが、引き続き高齢者防火訪問を実施し、火災予防や住宅用火災警報器の設置促進、加えて、査察による違反対象物の是正などを強化いたします。

さらに、北区では各校区の自主防災組織がしっかりと機能しており、自主防災訓練などをおして、北区民の防災意識は年々向上しています。その結果、令和元年11月25日に管内の「火災による死者ゼロ500日」を達成することができました。引き続き、「火災による死者ゼロ1,000日」を目指し、皆様のご支援、ご協力を賜りながら、署員一丸となって職務に邁進し、「北区民の安全・安心」を守り続ける所存でございます。

令和2年2月
堺市北消防署長